

中央大学ビジネススクール×東京活性化サロン
『中小企業ファイナンス講座』

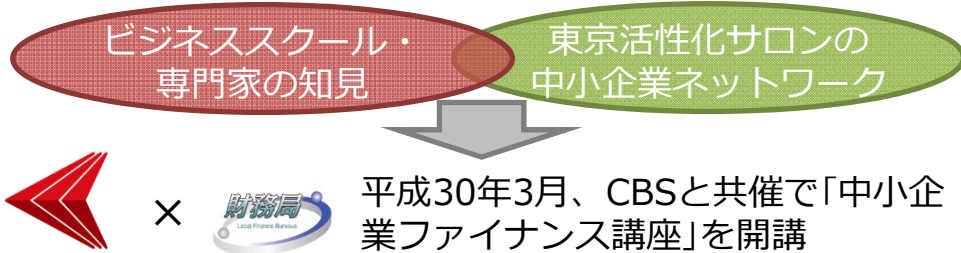
～地域金融の変化と金融イノベーションを中小企業の立場から読み解く～

CBS(中央大学ビジネススクール)と東京財務事務所「東京活性化サロン」の共催で、中小企業者を対象に「中小企業向け金融を考える講座」を平成30年3月より開講。

概要

【取組の経緯】

- ◆ 事業性評価に基づく支援、顧客との対話強化を促すべく、東京財務事務所は、金融機関向け勉強会等を継続実施。
- ◆ しかし、対話の一方の当事者である中小企業には、金融行政方針や金融機関に何が求められているかが必ずしも十分浸透していない可能性。
- ◆ 中小企業が、価値向上に役立つファイナンス等の知識、金融機関を取り巻く状況を理解することは、金融機関との相互理解・対話による共通価値創造に役立つとの考えから、同様の問題意識を有する大学と連携し開講を決定。



※ 財務事務所として、大学と共催で中小企業向けの中小企業金融講座を開講することは初の試み。

取組の成果と今後の展開

- ◆ 平成30年3月17日(土) 第1回記念シンポジウムを開催。
【基調講演】中小企業と金融機関は
いかに共創していくか
【パネルディスカッション】
中小企業金融の将来を考える
- ◆ サロンメンバー含む中小企業者、ビジネススクール学生(起業予定者、次世代経営者含む)115名が出席。異業種の意見交換・交流も実現。



【参加者の声】

- ・ 事業者に寄り添った伴走支援の一層の推進、営業現場への定着を望む。
- ・ 金融機関だけではなく、事業者の意識を変えていく必要性を感じた。

◆ 知財戦略、経営の見える化、フィンテック、資金繰り管理(短期継続融資活用)等、企業価値向上や金融機関との対話促進に役立つ講座を継続実施(年5～6回開催)。